

提出 順番	No. 4	平成26年11月26日 午前・ <u>午後</u> 4 時00分
----------	----------	-------------------------------------

平成 26 年 11 月 26 日

幕別町議会議長 古 川 稔 様

幕別町議会議員 増 田 武 夫



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
I. 「幕別町非核平和宣言」30年にふさわしい、平和な町づくりについて	「幕別町平和非核宣言」は、昭和 60 年（1985 年）12 月 23 日に決議された。来年度は決議 30 年の節目の年となる。 決議では「ここに幕別町は、恒久平和を願い、幸せな町民生活を守る決意を表明し、核兵器の全面禁止を求め、当議会は『幕別町平和非核宣言』の決議を行うものである」と結び、幸せな町民生活を守るために、恒久平和と核兵器全面禁止を求めている。 平成 21 年 9 月には、前年の一般質問に答えて、平和市長会議に参加した。町長は加盟にあたって『『唯一の被爆国として、核兵器による悲劇を二度と繰り返してはならない』』ということ、他の市町村とともに訴えていくことは重要である」と述べ、核兵器廃絶に向けた取り組みを継続していきたいと述べている。 我が国が被爆してから 70 年にならんとしているが、いまだに大量の核兵器が存在し人類を脅かしている。また、福島第一原発事故によって、わが国は 3 回目の放射能の脅威にさらされ、原発も人類と共存できないものであることが証明された。 恒久平和と核兵器の全面禁止を決議している「宣言」の 30 周年を迎える来年度には、次のような取り組みを求めたい。 ① 政府は「集団的自衛権の行使容認」を閣議決定し、来年度にも自衛隊法などの国内法を整備して、海外に出かけての武力行使（戦争）を可能にしようとしている。

Ⅱ．豊かな人間形成のため、学校教育の充実を図ることについて	恒久平和を希求して定められた日本国憲法第9条を、一内閣の解釈で180度変えることは、わが町の「宣言」の精神にも反するものである。町長として「集団的自衛権の行使容認」に、反対の態度を明確にすべきと思うがどうか。また、「核」の脅威を後の世代に押し付けることのないよう再生可能エネルギーの活用を力を入れ「原発ゼロ」の社会をつくる立場も明確にすべきと思うがどうか。 ② 2015年は、国連のNPT（核不拡散条約）再検討会議が開かれる年であり、核兵器禁止条約の締結を求める広範な声を届ける様々な取り組みが行われる。十勝からも国連に代表団が送られる。また、毎年開かれる原水爆禁止世界大会には、自治体として代表を送っているところもある。宣言をしている町として積極的な対応を求めたい。 ③ 「宣言」30年の節目の年にふさわしい、「恒久平和」「核兵器の全面禁止」の思いを、町民と共有できる取り組みを行うべきと思うがどうか。 将来の社会をしょって立つ子どもたちの教育は、最も大きい政治の使命であり責任のある重要な役割である。しかるに、日本政府はその責務を果たしておらず、GDPに占める教育予算は、OECD参加34カ国平均の70%以下となっており、連続最下位を続けている。 我が国は、少子化、核家族化が進み、次の世代に伝統文化やしきたり、食文化などが継承されにくいというえ、携帯電話、パソコンなどの普及によって、人と人との関係が築きにくく、人格形成の難しい社会状況が進行している。 そのため、政府の行おうとしている学校教育の在り方を検証し、国・道へ改善を求めると同時に、町として足らざるところを最大限補完するなど、社会の宝である子どもたちの健やかな成長を促進する努力が必要である。 財務省は、35人学級がいじめの削減に成果を上げていない等として40人学級に戻すことを求めて予算の削減を打ち出し、批判を浴びている。時代錯誤も甚だしい。 長野県は、「一人一人の理解度や興味・関心を踏まえたきめ細かな学習指導のため、小・中学校の少人数学級制
--------------------------------------	--

を着実に推進する」として、H16 年度から全学年で 30 人学級を実施し、着実に教育効果が上がっているとしている。

そこで、わが町の教育の充実のため次の点について伺いたい。

① 30～35 人以下学級実現の努力を

現代社会の中で困難を抱えている児童・生徒の成長にとって、少人数学級が望ましいことは明らかであるが、進んでいない。幕別町の取り組みと国・道への働きかけについて伺う。

② 栄養教諭の配置について

朝食をとらない児童が増加するなどの状況もある中、食育の重要性が高まっている。本町の栄養教諭の配置が進んでいないが、子どもの「食」の現状を考えると、道に強く要請すると同時に、独自にでも配置を進めるべきと思うがどうか。

③ 学校図書館の充実について

各学校図書の蔵書数・達成率は年々高くなっているが、さらに充実することが望まれる。司書教諭、学校司書の配置の現状はどうか。選任・専門・正規の学校司書を置くべきと思うがどうか。

④ 小中学校における非正規職員の実態と正職員化の努力について伺いたい。

以上